



〈11〉

好齢ビジネスパートナーズ代表(東京都三鷹市)の堀池喜一郎さん(71)は「65歳からは地域で志事(しごと)をしよう!」として、

わないな竹とんぼの作り方と飛ばし方を子供たちに教える指導者220人のネットコミュニティ。その楽し

みは、参加者はブログを通じて情報発信し、自分の好きなことや得意なことを仕事にするための情報コミュニティ

や働いた経験の少ない主婦が活躍できるよう、異なる世代・業種を結ぶ交流会、地域と私・始めの「歩塾」や「現役プロフェッショナルカフェ」を開催している。



地域問題解決型ビジネス(コミュニティビジネス)を推進する。シニアが地域

高齢者の地域リーダー育成

世代や業種結ぶ交流会開催

ビジネスに参加するための基盤となる「NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹」のほか、竹とんぼ作りの指導者コミュニティ「どい竹」を創設した。「どい竹」はナイフを使

さは、ネットや口コミで全国に広がり、5年間で4万人が受講したという。堀池さんがこだわりの「地域活動のリーダーを育てることだ。会社中心の暮らした定年後の男性

互いに協力できるように相互のネットワーク化を支援している。例えば、三鷹市の地域交流サイトとリンクした動画投稿サイト「ミタカッチTV放送局」への市民参加の支援だ。シニアSOHO普及サロンにデジカメ動画撮

り、影講座を取り入れ、受講生が市内のイベントやニュースの映像を投稿できるようになった。ミタカッチTVのキーワードは「NHK」。「N(ニュース性があれば)、(動画は)H(下手でもいい)。K(感動したことを伝えよう)」と楽しくて温かい!地域社会の崩壊を食い止めるには、地域の顔が見え、緩やかにつながれる仕組みが必要である。「生きがい、やりがい、ナイスガイ」を研究会事務局長・近藤則子

「好齢ビジネスパートナーズ」のHP ▶



共用ワーキングスペースでパソコンを使う堀池喜一郎さん(東京都三鷹市)